

# 中小企業がトクする お金の残し方 あれこれ

～無駄なコストの削減と 効果的な資産形成～

BE HAPPY

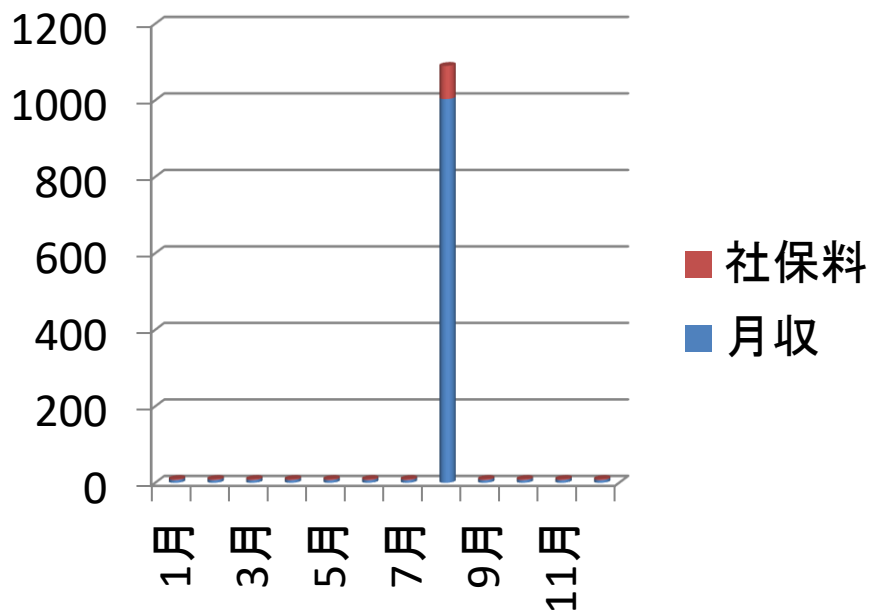
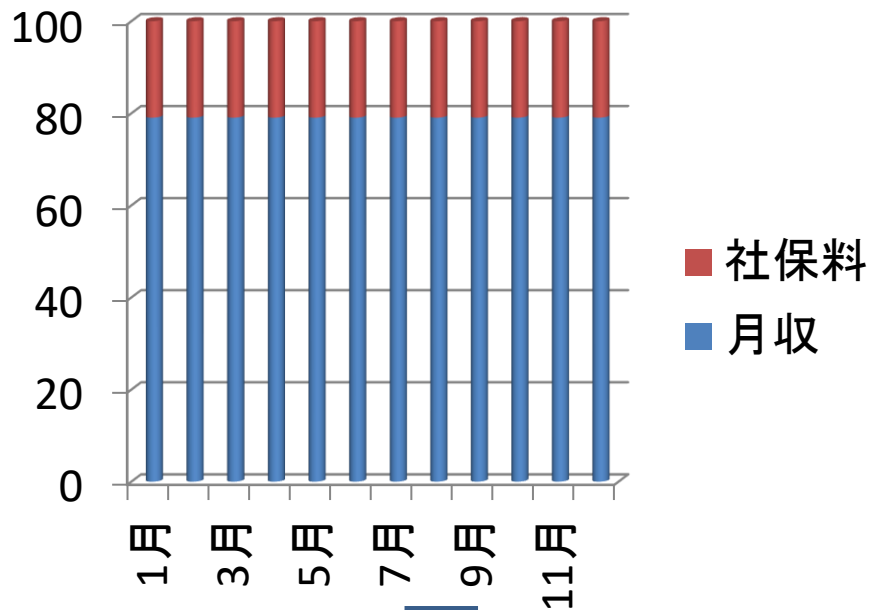
経営士・CFP 宮川 昌也

HP URL <https://be-happy-fp.com/>

【質問】 毎月の社長の  
社会保険料の負担を、  
収入を落とさずに、  
どうやって減らすこと  
ができますか？



【回答】役員報酬の年間  
総額を変えずに、受取  
方を「毎月同額」から、  
「1ヶ月集中(11ヶ月は  
低額)」に、(事前確定  
届出の上)変更します！



☆本資料は令和2年4月1日現在の制度に基づき作成しております。実際の適用については、貴社の顧問税理士・社会保険労務士等とご相談下さい。

# 役員報酬を年間総額を変えずに、普段の月の受取額を減額すると、社会保険料がこんなに節約できる！

## 設定例

年間1,200万円の役員報酬を、今年「毎月同額平準払」から「1カ月だけ高額、あとは低額払」に変更した場合

1. 毎月100万円の役員報酬を支給



毎月の社保(健保・介護・厚生)の  
労使合計額: 22.36万円



年間社保総額: **約268万円**



2. 毎月の役員報酬を10万円に抑え、  
年1回・某月だけ1,080万円を支給



毎月の社保(健保・介護・厚生)の  
労使合計額: 2.88万円  
& 加算月の加算社保額: 92.9万円



年間社保総額: **約127万円**



コスト削減額 141万円

(法人も個人も70.5万円負担減)

さらに、65歳以上の役員なら、支給停止されていた「**在職老齢年金**」  
年額**180万円**が、**満額支給**されるようになる！

## 【留意すべきポイント 4点】

- ①「1ヶ月だけの集中月」設定に制限あり  
⇒「4～6月以外の月に設定」にあてはまるか？
- ②「実質的な“自分の給与の年払化”」に  
適応できるか？  
⇒3ヶ月の待ち期間&8ヶ月の集中月  
以外の月は、実質 無収入(赤字?)
- ③報酬月額変更届出時の事務が複雑  
⇒「取締役会議事録」の提出等
- ④現在の負担が軽減されても、  
将来の準備分は？  
⇒消えた公的年金受取額分は、  
自分で準備を！

## 【④の事例検証】

☆65歳～ 厚生年金予想額

事前確定届提出前 : 235万円

↓

是全確定届提出後 : 177万円

その差 **▲55万円 !**

どうする？

# 毎月の貯金のしかた(余裕資金の貯め方)をちょっと 変えるだけで、10年後にこんなに違ってくる！(1)

## 事例

### 【税込年収1,200万円の役員 個人の方の収支点検・設計】

- ① 法人が毎月準備する役員の役員報酬月額(額面) 約100万円
- ② ①のうち 社会P(健保・介護・厚生) 約10.3万円
- ③ ①のうち 所得税など 約25.3万円
- ④ ①のうち 生命・医療・自動車・火災P 約 4.4万円
- ⑤ 当役員の手取り役員報酬月額=①-②-③-④ 約 60万円
- ⑥ ⑤のうち 家庭生活口座振込分 約 25万円
- ⑦ ⑤のうち 役員の毎月のお小遣い・経費補助分 約 5万円
- ⑧ 毎月の余裕資金額=⑤-⑥-⑦ 約 30万円



毎月30万円を10年間、銀行積立預金(年利0.4%)すると・・

$$30万円 \times 12ヶ月 \times 100.4\% = 361.44万円$$

$$1.44万円 \times 80\% = 1.152万円 \quad 361.152万円 \times 10年 = 3,611.52万円$$



10年間の預金なら、約3,611万円が貯まる。

役員報酬月額を、敢えて毎月25万円落として75万円とする。その分を法人契約の生命保険Pにする。



- ① 法人が毎月準備する役員の役員報酬月額(額面) 約 75万円
- ② ①のうち 社会P(健保・介護・厚生) 約 7.7万円(=▲2.6万円)
- ③ ①のうち 所得税など 約15.9万円(=▲9.4万円)
- ④ ①のうち 生命・医療・自動車・火災P 約 4.4万円
- ⑤ 当役員の手取り役員報酬月額=①-②-③-④ 約 47万円
- ⑥ ⑤のうち 家庭生活口座振込分 約 25万円
- ⑦ ⑤のうち 役員の毎月のお小遣い・経費補助分 約 5万円
- ⑧ 毎月の余裕資金額=⑤-⑥-⑦ 約 17万円



この毎月17万円と、法人の25万円を、各々10年間、生命保険(養老保険)のP(10年後の手取り率:112.3%)にすると・・

$$42万円 \times 120ヶ月 \times 112.3\% = 5,659.92万円$$



報酬月額を敢えて抑えることで、社保・税金を軽減でき、その分を将来の資金に変えられる！

10年間の保険なら、約5,660万円が貯まる。

# 毎月の貯金のしかた(余裕資金の貯め方)をちょっと 変えるだけで、10年後にこんなに違ってくる！(2)

## 円預金

M銀行  
1年定期預金

年利：0.4%

5,040 万円

5,060 万円  
(税引後)

## 円建運用性保険商品

M生命  
円建養老保険

10年後CV率：  
112.3%

5,040 万円

5,660 万円  
(税引後)

## 外貨建運用性預金商品

H外銀  
豪\$建1年定期預金

年利：3.1%

5,040 万円  
(1豪\$=83.5円)

5,610(75)~  
6,290(84)万円

# 金額が多ければ多いほど「役員退職慰労金」と「役員報酬」の実効税率格差が広がり、手取り額に大きな差が出ることをご存知ですか？

税引き後手取額を比較してみましょう。

勇退退職金で受け取った場合				手取額差	役員報酬で受け取った場合			
退職慰労金額 (万円)	税金 (万円)	実効税率 (%)	手取額 A (万円)	A-B	報酬金額 (万円)	税金 (万円)	実効税率 (%)	手取額 B (万円)
1,000	0	0.0	約1,000	約 159万円	1,000	約 159	約 15.9	約 841
2,000	約 11	約 0.5	約1,990	約 533万円	2,000	約 543	約 27.1	約1,457
3,000	約 124	約 4.1	約2,876	約 881万円	3,000	約1,005	約 33.5	約1,995
4,000	約 298	約 7.4	約3,702	約1,182万円	4,000	約1,480	約 37.0	約2,520
5,000	約 508	約10.2	約4,492	約1,447万円	5,000	約1,955	約 39.1	約3,045



**5,000万円**なら、実効税率は約 10.2%と約 39.1%と実に約 29%の差、金額にして、**約 1,447万円もの差**になります。

上記の表は、給与所得のほかに収入なく、勤続35年・4人家族の場合で、所得控除は基礎控除と一般扶養控除のみと前提。配偶者(特別)控除・社会保険料控除は考慮せず。

# ディスクレーマー

本書は情報の提供のみを目的として作成されたものです。本書中の情報は、弊社において信頼できると考える情報源に基いて作成していますが、弊社は本書中の情報・意見等の公平性、正確性、完全性等を明示的にも、黙示的にも一切保証するものではありません。かかる情報・意見等に依拠したことにより生じる一切の損害について、弊社は一切責任を負いません。本書中の分析・意見等は、その前提が変更された場合には、変更が必要となる性質を含んでいます。本書中の分析・意見等は、金融商品、クレジット、通貨レート、金利レート、その他市場・経済の動向について、表明・保証するものではありません。また過去の業績が必ずしも将来の結果を示唆するものではありません。本書中の情報・意見等が、今後修正・変更されたとしても、弊社は当該情報・意見等を改定する義務や、これを通知する義務を負うものではありません。お客様が本書中に記載された法律、税務、会計上の問題・リスク等を検討するに当たっては、お客様において取引の内容を確実に理解するための措置を講じ、別途お客様自身の専門家・アドバイザー等にご相談されることを強くお勧めします。本書は、弊社又は弊社の関連会社からのからの金融商品・証券等の引き受け又は購入の申し込み又は勧誘を構成するものではなく、公式又は非公式な取引条件の確認を行くものではありません。本書および本書中の情報は秘密であり、弊社の文書による事前の同意が無い限り、その全部または一部をコピーすることや、配布することはできません。

いつもありがとうございます

BE HAPPY

経営士・CFP 宮川 昌也

HP URL <https://be-happy-fp.com/>